



第368号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



てき みかた 敵も味方も



カット：本多紘子

九月になっても秋の気配を感じさせない異常な暑さですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。日本では新型コロナウイルスが、第二波の流行のよう、感染が終息しないのは心配なことです。

今年の夏の特徴は、新型コロナウイルスの影響で各地の夏祭りが中止され、故郷で故人を偲ぶお盆の帰省が自粛されたことです。祭りやお盆の帰省は人と人の出逢いを生むものであり、親交を深めたり、新しい絆を作ったりする大切な行事でもあります。心光寺のお盆参りも予定していた家庭から、感染の心配でお参りをキャンセルして、御布施を送って下さいましたが、皆様と逢えなかつたのは少し残念でした。

高校生や中学生たちのスポーツの大会も、コロナ感染の心配で中止されてきましたが、感染予防を徹底して何らかのかたちで開催しただけの交流試合など、生徒達の思い出を作ったのは最高です。それにしても地球温暖化の影響なのか、日本列島の気温が摂氏40度を超えた浜松市やそれに近い気温35度以上が8月10日から22日まで各地で猛暑が続き、熱中症での死者が増え驚いています。20年前までは8月10日頃から朝夕は涼しい風が吹いていたのに、異常ですね。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

熱い戦いと言えは、将棋の藤井聡太棋聖は8月20日、福岡市で指された第61期王位戦7番勝負第4局で木村一基王位(47)に勝ち、4連勝でタイトルを奪取、最年少の18歳一ヶ月で棋聖と合わせ二冠となりました。藤井新王位は愛知県瀬戸市出身の高校3年生です。今年7月16日の棋聖戦5番勝負で渡辺明棋聖(36)に三勝一敗で勝利し、初のタイトルを最も若い17歳11ヶ月で獲得したばかりでした。これまでで最も若い二冠の記録は1992年、羽生善治九段(49)が作った21歳11ヶ月です。八段昇格も加藤一二三・九段(80)より二ヶ月も早い若さで昇段、藤井聡太さんの今後の活躍を期待するばかりです。

愚僧が子供のころはテレビが無かったので、大人の男たちは縁台で将棋を指して楽しんでいたので、子供たちも横で見ながら、将棋のルールを知らず知らずのうちに覚えていました。小学生の頃は、子ども同士で将棋を楽しんでいましたが、中学になったらあまり将棋を指した覚えもなく、家の手伝いやキャッチボールをして遊んだことが浮かびます。

江戸時代に倉敷市玉島の円通寺で修行された良寛さんの詩に、「花は無心にして蝶を招き、蝶は無心にして花を尋ねる。花開くとき蝶来たり。蝶来るとき花開く。吾もまた人を知らず。人もまた吾を知らず。知らずして帝則に従う」とあります。自然と一体になり、自然の中に溶け込む。そこに「無心」が生み出す幸せがあります。なのに自然を征服しようとか、変えようとかするから地球が温暖化して大雨や台風・砂漠化で災害や公害に人は苦しむ。つまり世界がグローバル化して、みんなが儲けよう、得をしようとか欲望丸出しの経済を推進することが、人と人を分断する新型コロナ地獄が生まれたのかも…。

将棋は敵の駒を手に入れたとき、その敵の駒を上手に利用した方が勝負に勝ちます。敵だと思っていたものが、味方になるといって考え方が素敵です。新型コロナも人類の敵ではなく、いつか味方として働いてくれる時期が必ずあることを信じていたいな。合掌 (奥原曇龍)

『敵味方心の持ち方次第だよ 全てを生かせば生命かがやく』 どんりゅう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・九月 七日「月曜日」 午前十時から昼十二時まで。
十月二十二日「木曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり ④7

お釈迦様は成道後の第二年、第三年、第四年の三回の雨期は、マガダ国の王舎城付近で過ごされた多くの仏伝にあります。

この点からすれば、お釈迦様の最初の仏教活動はマガダ国を主とするものであった。この土地でのすぐれた青年たちは、多く仏弟子となり、出家する者が少なくなかった。街の人々は、「沙門ゴータマ(お釈迦様)は父母から子を、妻から夫を奪い、家系断絶の危険をもたらしている」と、轟々たる非難を浴びせています。

批判をする人も増えれば、それ以上にお釈迦様を信頼する人が増え、出家教団の托鉢による生活も容易ではなかったが、仏教の在家信者も増加し、教団が維持されていきます。

仏教教団が増大するに従って、これを統制する規則も必要となってきます。真面目な人もいれば、教団に入れば食べ物に不自由ないからという生活の安定だけを願う人もいたからです。お釈迦様の成道後十二年目から戒律が制定し始められたと言われています。戒律には禁止事項(止持戒)と遵守事項(作持戒)とがあり、禁止事項が強調されます。

雨安居規定という仏教の言葉を知っていますか。遵守事項の一つに雨期の安居規定があります。インドでは毎年雨期が三、四ヶ月続くのですが、この間は修行僧の比丘たちは歩くことをやめ、一方所に止まり、托鉢によらずして特定の信者の供養によって生活し、学問修道などに励むのです。その他の時期には、一所不住の雲水さんのように托鉢の生活をなし、諸方を遊歴するのです。

ところで初めの間は、お釈迦様も弟子たちも雨期の間も遊歴托鉢の生活を続けていました。ところが、「雨期は虫類が繁殖する時期で歩き回ると踏み殺す」とジャイナ教の人たちに批判され、お釈迦様も生き物を大切にする雨期安居を採用します。合掌(奥原曇龍)

猛暑にゆっくり顔出す彼岸花 虫も鳴いてるともしびの寺 田辺多恵子



8月13・14日 心光寺 お盆合同法要

ともしび法話

九月は秋のお彼岸月。今年はお盆が過ぎても異常な猛暑でした。皆様、お元気ですか。新型コロナの感染の流行もあり、自粛生活で体力が落ちないようにして下さい。夏の暑い時にマスクをつけるのは大変ですが、コロナの早い終息を願っています。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

心光寺のお盆の合同法要に8月14日にお参りさせて頂き有り難うございました。本堂が広くて、三密にならず、ゆつたりしており、安心してお参り出来ました。倉敷市藤戸町天城 縄田 君子

盆参りコロナ怖れず心光寺 亡き妻偲ぶ合同法要 本堂は広くてゆつたり安心す マスクしながらお経あげる 倉敷市西富井 網本 健二

お盆の合同法要8月13日・14日の午前中の行事は暑い中を有り難うございました。秋のお彼岸の合同法要は9月22日午前10時からです。心光寺でお会いしましょう。倉敷市連島町 長畑 覚

ともしび説法

日時・九月 七日「月曜日」 午前十時から昼十二時まで。
十月二十二日「木曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

- 十一月 三日(火)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
- 十二月二十二日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
- 一月 一日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



いころの詩

秋のお彼岸だよ
はげしかった暑さも和らいだ
非常事態のコロナはまだ続く
不安と不満を心に沈め
平静をよそおいながら生きる
ほろ苦い自粛生活
まわり道こそ自分をきたえる



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「368号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。午前のともしび説法の日には、茶屋町駅西口に9時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健